

■会長 徳久 京子 ■幹事 藤原 新一 ■会場監督 小林 大二郎  
 例会場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)  
 〒194-0013 レンブラントホテル東京町田  
 事務局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F  
 〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

## Vol.52

## 第2473回例会

## No.37

## 令和5年6月27日

### ■会長の時間

会長 徳久 京子

いよいよ、今年度最後の例会となりました。私は、今年度の活動方針として「取り戻そう」「記憶に残る年にしよう」を掲げました。私自身は、大いに取り戻し、記憶に残る出来事がたくさんありましたが、みなさんはいかがでしたでしょうか。みなさんの中に一つでも「あれは面白かった」と記憶に残るものがあれば嬉しいです。

今年は、できるだけ多くの方と最終例会を過ごしたいと考え、通常例会といたしました。渋谷勝さんが出席してくださって、とても嬉しいです。渋谷さん、次年度も無理のない範囲で、是非ご出席ください。

次年度二回目の例会で、今年度を振り返る時間をいただきましたので、詳しい振り返りはそのときに譲りますが、この一年は、皆さんに支えられていることを実感する日々でした。

今年度がスタートした昨年7月は新型コロナウイルスの第7波の始まりと重なっていたので「取り戻そう」といってもできるのだろうか半信半疑でした。実際、8月の炉辺会や夜間例会は実施できませんでした。その後小康状態になり10月には例会を円卓形式に戻し、鹿屋西RCのお迎えも賑やかに行うことができましたが、12月頃から第8波が始まり、クリスマス例会も危ういところでしたし、2月のサッカー教室は延期となりました。担当の一ノ瀬さん、岩本さん、小野田さんには大変ご苦労をおかけしましたが、今年度前半、臨機応変に対応できたのは、杉崎年度、渋谷年度、一ノ瀬年度で経験したクラブとしての蓄積があったからできたことだと思います。

3月にコロナが5類になる見通しができてからは、大分気持ちが変わってきて「取り戻し」が加速したように思います。年度当初は考えてもいなかったことが起きました。韓国との青少年交流と地区補助金申請です。補助金申請は、右も左もわからない暗闇を進んでいくような作業で、ここまで取り戻すつもりはなかったよなあ、とぼやいたことも何度かありましたが、初めての補助金申請や海外クラブとの事業計画は、クラブとして経験を積む良い機会になったと思います。次年度は、これを実行する年となりますので、みなさん、よろしく願いいたします。

この一年、大谷PG、黒河内三郎会員、栗林会員をはじめとする先輩方からたくさんの教えをいただきました。また、私病で例会を休まざるを得なかった時は、中村副会長や藤原幹事、小林SAが支えてくれました。教えてくれる先輩がいる、困ったときに助けてくれる友人がいる、このようなロータリーのフェロウシップを感じる日々を過ごせたことが、この一年で私が「取り戻した」ことであり「記憶に残る」とても「幸せな」出来事でした。

このような幸せな機会をいただける会長というお役を任せてくださった皆さんに改めて感謝申しあげるとともに、皆様にもこの幸せを味わっていただきたいので、未経験の皆様には是非、会長になることをお薦めいたします。

至らない点ばかりだった私を1年6ヶ月支えてくれた藤原幹事、小林会場監督、理事役員のみなさま、会員のみなさま、本当にありがとうございました。

7月からはまた一会員として、みなさまと楽しみながら成長していきたいと思えます。

### ■幹事報告

幹事 藤原 新一

・幹事報告です。本日、18時よりイタリアンガーデンにて、新旧理事引継ぎを行います。1年間の感想をしゃべろうと思ったのですが、「再来週に卓話として話せ」というリクエストがございましたので、感想はその際に話します。

・徳久会長には負担をかけないように、と思いつつも、足りないことばかりで、大変なご苦労をかけてしまいました。最初の一か月幹事報告のチェック、のみならず様々な至らない点をフォローしていただきました。

また、基本的に私が行うことを応援してくれ、守ってくれたおかげで思いやりやることができました。ほんとに感謝しております。

・小林さん、SAありがとう。同年代の友人が近くにいるのでとても安心できました。

・会員の皆様。私の不適切な行動や言動で気を悪くされた方がいると思います。お詫び申し上げます。

一方で、何かにつけて声をかけてふと声をかけて下さる会員の皆様に励まされて、何とか一年間やることができました。ありがとうございました。

・徳久さんが会長の時に幹事で、そしてこんなにも暖かい会員に囲まれて、その職責を果たせたことは、ほんとに良かったと心の底から思っています。

・皆さんほんとうにありがとうございました。会長幹事を慰労してくれる会が発足するのを楽しみにしています。

・来年度も、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

### ■イニシエーションスピーチ

伊藤 智晴

みずほ証券町田支店の伊藤智晴と申します。前任の米田さんの後任として本年4月に着任をいたしまして、入会のご縁を頂戴いたしました。若輩者でございますが改めてよろしくお願い申し上げます。

私は1973年10月生まれの49歳でございます。1973年は所謂第二次ベビーブームの頂点の年でした。その年は年間での出生者数が209万人、死亡者数を差し引いた人口の自然増加数は138万人となります。第一次ベビーブームが1949年、年間の出生者数は270万人、死亡者数を差し引いた人口の自然増加数は175万人というデータとなります。この期間にお生まれになられた方々が、1955年から1973年までの日本の高度経済成長期を経て、24歳になられた1973年に第二次ベビーブームとなりました。また1949年生まれの方々の可処分所得が増加し消費支出が増加する傾向となる40歳になられた1989年がバブル経済のピークとなっていることも、人口動態と経済の関連性がみられる一端です。その人口動態に関してですが、2005年から日本は死亡者数が出生者数を上回る人口減少の時代に突入しております。年間の出生者数は100万人を下回り、一方で死亡者数が出生者数を上回っているため、人口の自然増減数は年間63万人の減少という昨今の状況でございます。日本の人口動態は2010年の1億2806万人を頂点に減少傾向となっており、みずほ証券の調査データとなりますが2060年では9284万人まで減少すると推計されております。現時点から3000万人の人口が減少した社会の光景となります。また、15歳から64歳の所謂生産年齢人口数も同様の傾向となります。生産年齢人口数は1995年の8717万人を頂点として、足許は約7200万人、2060年では4793万人まで労働人口が減少する推計となります。片や、日本の平均年齢の高齢化は進む傾向であり、1980年では33.9歳であった日本の平均年齢は2020年で47.6歳、2060年では53.2歳になる推計となります。2020年時点ですが、世界の平均年齢は全世界で31.0歳、対してドイツが47.8歳、英国が40.6歳と欧州地域は比較的高く、米国が38.5歳、中国が38.4歳、インドが28.7歳と地域により大きく異なる状況であります。余談ですがこのデータもみずほ証券作成データの引用ですが米中央情報局：CIAのデータをもとに作成されているとのことです。全世界の人口は1980年の44億人から2022年で79.4億人と急拡大しており、さらに2050年では推計で97億人まで拡大していく傾向となります。そういった中、人口減少という世界の潮流とは逆相関となる日本国の将来の世代に対して一個人としてできることは小さいと思いつつも仕事や奉仕といった活動を通じて何を残していくことができるのか、考えるべき年齢になったと感じております。例えば現政権下で大きな胎動となっている資産倍増プランは家計の預金が投資にも向かい、持続的な企業価値向上の恩恵が家計に及ぶ好循環を作る、としております。資産運用が資産形成における一助として適切に定着すべく金融機関としてのあらたな社会的役割があるものと認識しております。

話が少々大きくなりましたので、ここからはコンパクトに私自身について自己紹介も兼ねてお時間を頂戴申し上げます。出身は埼玉県南部でございます狭山市という人口15万人程度の市でございます。狭山市はお茶の産地でございます、狭山茶というブランド名なのですが、生産量は隣接している入間市のほうが多いとのこと。小中学校を狭山市内の公立学校で過ごしましたが、周囲が茶畑と野菜畑に囲まれたのどかな風景のなかで幼少期を過ごしました。

(裏面につづく)

今週の情報	本日のプログラム	慶祝 ガバナー補佐訪問
	次会のプログラム	卓話
	近隣クラブ例会情報等	



高校は小平市にあります錦城高校という高校に進学をいたしました。現在は共学になっておりますが当時は男子校でございました。出身者としてタレントの所ジョージさん他、著名な方もおられました。当時は卒業・入学式などの行事の際に通常であれば生徒全員が歌うべき校歌を生徒がだれも歌わないため(歌わなくていい、ということではありません)、なぜか教頭先生が独唱をする、体育祭での怪我人が多い、などの古き男子校の雰囲気様が残っておりました。私は子供の頃からエジプトのツタンカーメン王の墓を発見した考古学者のハワード・カーター博士やトロイの遺跡を発見したシュリーマン博士に憧れており、高校生の時に将来は考古学者になりたいと思っておりました。しかしながら大学受験を甘くみており、受験勉強にはさほど注力することもなく、それでもそういった分野の大学への受験はなんとかなるだろうと甘く考えていた結果、2浪することとなりました。高望みをしたつもりはなく、単純に受験先すべてが不合格のためでした。そこからは自身の甘さや将来について見つめなおすこととなり2年ほど遠回りの上、最終的に早稲田大学の法学部に進学をいたしました。2浪の影響から入学金の貸与や奨学金の活用もあり、アルバイトと通学の日々となりました。4年で卒業するものは3流、留年は2流、中退が1流という風説もあったそうですがさすがにそうもいかず、4年で卒業する道を選びました。当時、将来像として法律家を目指すという考えも浮かびましたが、自身の脳レベルやそこまでの強固な意志がない自覚があるなかで、一般企業への就職活動の時期を迎えました。そこで始めて証券業界なる業種があることを知りました。ご縁もあり結果、現在のみずほ証券を構成する一画となる当時の新日本証券に内定することとなりました。就職活動は1997年でしたが、就職先も決定し残りの学生生活を惜しみながらすごしていたところ、同年11月、突如として山一証券を含めた複数証券会社の破綻報道が世の中を席卷しました。後に、就職氷河期と言われる時期でしたが、バブル経済が破綻し景気の悪化傾向が継続するさ中、第二次ベビーブーム世代が就職するという、景気悪化と求職人口のミスマッチが生まれていた時期となります。当時は内定先は大丈夫なのだろうが、無事に社会人になれるのだろうか、また浪人することになるのかと不安の日々をすごしておりました。その不安は杞憂におわり、無事に入社式を迎え1か月の集合研修を経て、現在にいたるまでの社会人人生がスタートいたしました。配属は名古屋支店となり、今では考えられませんが灰皿や会社四季報をはじめとして、本当にものが飛び交う、怒鳴り声があちこちから飛び交う、などの光景が現実にある時代でした。

まもなくして当時の和光証券との合併により新光証券と社名が変わりましたが、当時はそういうものか、とあまり気に留めることもなくその後続く合併や社名変更への抵抗感は少なかつたと思います。名古屋支店には8年在籍し、その間28歳で結婚しその翌年に長女が生まれたのですが、出産後

まもなく妻が癌を罹患をしていることが判明しました。絨毛癌という名称で妊娠出産に起因するとのことですが、症例は多くはなく悪性度は高いとのことでした。幸いにも受診をした名古屋の大病院に専門の先生がおられ適切な治療を早期に開始することができました。治療の甲斐がありおかげさまで妻子ともども現在も元気しております。病気の判明後即座に抗がん剤治療が始まりましたが、髪の毛はすべて瞬く間に抜け落ち、副作用も強い投薬治療が続く中でやせ衰えていく妻の姿は今でも覚えております。8か月程度の入院治療を経て退院となりました。この経験を経て、健康でいられることがいかに幸せであるか、日常で当たり前のことがいかにありがたいことであるかを身に染みて実感いたしました。また病気を抱えられている、闘病をされている患者さんとともに日々を歩まれているご家族の苦労や心痛が多大なものであること、医療関係者の方々がいかに頼もしい存在であるかなど様々なことを学べたと考えております。私自身も不安や心労が重なり、当時はうつという言葉があまり認知されておりましたが、振り返るとそのような状態ではなかったかと思ひ返されます。生まれたばかりの長女もあり、お前がしっかりとしないかどうするんだ、と叱咤いたたく言葉が当時はただつらく感じるのみであり、周囲の声に耳を傾けられない状態にもなりました。そのような折に、ある方から今が人生で一番つらい状況だよな、一緒に乗り越えていこう、と理解や共感の言葉をかけられとても心に染み込ませたことは今でも思い出されます。もちろん叱咤激励が善意のものであることは言うまでもないのですが、当時の私はその言葉を受け止めるだけの強さを身につけられておらずにいました。その時の経験は、同じような境遇に置かれた後輩や部下に接することとなった際に、いかに寄り添い、かける言葉や配慮がどうあるべきかを考えるための経験則になっていると思います。退院後、再発などもなくしばらくして初の異動で福岡支店、次に初の管理職として札幌に異動となりました。札幌在任時に再度の合併をへて社名も現在のみずほ証券となりました。その後は本店営業部、支店長として兵庫県西脇市の西脇支店、地元埼玉県の所沢市の所沢支店と歴任し、昨年1年間は本社に入り営業企画などを管轄する部署にありました。現場指揮官が参謀本部に異動となった際の違和感とはこういうものか、と感じました。ここでは組織として本部の現場理解の不足による弊害を認識するとともに、自身は本部の実態を知らない現場指揮官であったことを強く認識いたしました。百聞は一見に如かず、を体感するとともに一職人として改めてまだまだ学ぶべきことが多く、生きている限り勉強だと痛感いたしました。いままで全国を巡り、様々な方々との出会いを経てこの度、相模原南ロータリークラブに入会させていただくご縁を頂戴いたしました。改めて、より多くの学びの機会をえられたことを大切にしていまいる所存でございます。まだまだ不勉強でありご迷惑をお掛けいたしますが、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■本日のスマイルBOX

- 徳久 京子 君、藤原 新一 君  
★一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました♡  
伊藤さん、インシエーションスピーチ楽しみにしております!
- 小川 大二郎 君  
★つたないSAAでしたが皆様のお力を借りてなんとか1年を終える事が出来ました。会長・幹事のお二人も1年間ありがとうございました。栗田次年度SAA、頑張ってください。
- 渋谷 勝 君  
★お世話になっております。ご無沙汰しております。おかげ様でだいぶ回復しております。有難うございます。本日は今年度の慶祝3度分のスマイルをさせて頂きます。これからご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い致します。ありがとうございます。
- 杉崎 信一 君  
★徳久会長、藤原幹事、一年間お疲れさまでした。
- 黒河内 三郎 君  
★徳久会長、藤原幹事、一年間お疲れさまでした。毎回とても楽しく、すばらしい例会をありがとう。
- 栗田 直輝 君、江田 昌弘 君  
★会長、幹事、会場監督、各委員の皆様、本年度大変お疲れ様でした。楽しい一年間でした。
- 伊藤 智晴 君  
★本日はインシエーションスピーチをさせていただきます。
- 長瀬 徹 君  
★伊藤会員、本日のインシエーションスピーチ楽しみにしております。宜しくお願ひいたします。

- 溝淵 真澄 君  
★会長、幹事、一年間お疲れさまでございました。
- 奥橋 園子 君、一ノ瀬 裕 君、岩本 勉 君、大谷 新一郎 君、佐伯 外次 君、小方 實 君  
★徳久会長、藤原幹事さん、一年間お疲れ様でした。渋谷勝さん、ようこそいらっしゃいました。
- 栗林 一郎 君、松井 克之 君、小野田 勝宏 君、黒河内 彰子 君、森泉 朋子 君  
★徳久会長、藤原幹事をはじめ、理事役員の皆様、一年間ご苦勞様でした。
- 足立 旬一 君、市川 孝幸 君  
★徳久会長様・藤原幹事様・理事役員の皆様、大変お世話になりました。お疲れ様でした。伊藤様、卓話楽しみにしております。渋谷勝様、ようこそいらっしゃいました。
- 青木 亜也 君  
★今年度も楽しい例会をありがとうございました。
- 松山 隆雄 君  
★花あれば 便ち入る 論せず 貴せんとしんそとを わきまへぬこそ 輪廻の苦 ただ一葉のひるがえる 風の行くへや…ご苦勞様でした。
- 大谷 新一郎 君  
★結婚して44年になります。今、家内は車椅子の生活ですが、頑張っております。私も良き夫(?)として、出来るかぎりのサポートをしていきたいと思ひます。

■本日のスマイル 53,000円  
■累 計 1,030,000円

□出席報告：出席委員会		6月27日	会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	欠席
前々回 第 2471 回 6月 13日	当日	47 (43)	27	4	31	72.09	12	
	修正	47 (43)	27	4	31	72.09	12	
第 2473 回	6月 27日	当日	47 (45)	33	1	34	75.56	11

6月13日(修正)完全欠席 = 江尻、小方、三枝、澁谷(直)、鈴木(晴)、鈴木(雅)、竹村、中山、松山、溝淵、宮崎、若林